

8/17  
ナナさん

昔の

日本人ははんなりしていた水を利用して、土をたがやしました。そのようにして作った米は、おさめた川の水を利用して選びました。私がこのお話を読んで、まず印象に残ったのは、日本人が上手に川を利用して、むだなく水を使っていることです。

私のおばあちゃんは、たくさんのお花を育てています。だから、水やりにはたくさんのお水を使います。おばあちゃんに聞いた話によると、お米をといだしるを使っている花の水や



よ  
う  
に  
書  
け  
た  
か  
ら



いい文だね

りをや。たそうです。また、母も水を再利用したと言。ていきました。

母は お風呂のときに 半分ほどあま。た

お湯をせんとくにも使。たそうです。

お風呂のお湯がとてもも。たいない。

こい。ていたおはあちやんにも。私は、この

方法を教えてあげようと思ひました。

昔の人は、むだなく水を使。ていきました。

私は、昔の人みたい。に水を上手に。むたのな

いように使。たいなと思ひました。これから

は、水を再利用して、水をすてる量をへらし

ていきたいです。

また、私はこの本を読んで、むかしの日本

人の川とのつきあひ方が、今とはま。たくち

がうことを知りました。ひとくちでい。えは

てぶ。た雨を土に返そう。としたのです。そ

水も受け入れて、できるだけ土に返し、水が

いちどに川へおしよせな。いよう。心をくだき

ました。母は、小さいころ、茨城県の利根川が流

れて、



習っていても漢字を書くには

に任んでいました。母が三歳のとき 家族と  
一緒に 長野県のおばあちゃんの家遊びに  
行。たそうです。ところが 帰るとちやうに  
雨がふ。しまいました。川が洪水にな。て  
しまふかもしれなが。たし、道路がすべりや  
すくな。てしま。たから、その夜は車の中で  
一泊したと言。ていました。

私の家は川からはなれています。川が洪水  
になるような大雨がふ。たことはありません。  
けれども、大雨や洪水のこわさを知。ておき

もし大雨がふ。ても安全な行動をとれるよう  
にしておきたいと思。ました。そして、こう  
いうこわい川と共存しようとした昔の人の知  
恵は、すばらしいと思。ました。

もう一つ心に残。たことは、今、ダムをつ  
く。てもつく。ても、水が足りなくな。てい  
ることです。川にはり、せ な ま ら  
ました。川はふ。うして、な ま ら  
ても、水は不足するばかりです。それ

私は、二週間ほど前に、父と公置にのぼ



この部分は本の主題からずれるから  
なにもいいから

この水でも  
1200字ぐらいになるから

ムンロをさがしに行きました。けれど、  
さがあや木があまりなかつたので、  
ません。いした。  
また母も昔、カタツムリを見かけていた  
そうです。それが、ケリがニもたくさんい  
て、自分でつかまえてか、ていたとき、てい  
ました。けれども、今は自然がへり、全く見  
がけません。  
日本では、色々ななかんきょう問題がおきて  
います。九月、レナ、以上の動物や、しよく

物がくらしをしています。今のうちの、三千六百九  
十レナ、るいの生き物が、てつめつさくしアに  
指定されているそうです。

もし私たちが、川とのつきあひ方を変え、  
水を大切に使用、たら、水も不足しなうと思ひ  
ます。川というものは、人間にとつたたの  
川ではなく、とても大切なものです。私は、  
この本を読んで、水が昔から色々ななごこ  
なごこを起こしていたことが、よくわがりました。  
た。一九七〇年からつづいて、いる水不足の水

データが入る言説得から



を、少しでももたにならないうように、大切に  
使いたいと思います。

ガ  
ン  
バ  
ッ  
タ



とて  
よ  
書  
け

字  
数  
が  
長  
く  
大  
変  
な  
っ  
た  
で  
し  
か